

ことぶき俳句会

子どもらと揃って行きぬ初詣
 初詣絵馬に願いの喜寿となり
 書初めは初吟会と横書きに
 初春や受験のふたりを祈りけり
 級友のふたりに今年は寒見舞い
 早朝の古紙回収や十二月
 早朝の古紙回収や十二月
 初笑い座を立つときも友頼り
 蛇口より水ほとばしる初鵜

大山さよ子
 越坂 順子
 徳地はつ子
 橋本 葉子
 福澤 米子
 福原 仁子
 宮部あき子
 高橋 悦子

浦幌短歌会

伴奏者指導者を得て三十年
 ホールは満ちてコーラス発表
 もろもろのもの捨て捨てて秋の暮
 夫のひきたる弓が残りぬ
 幼な子は二晩泊りて帰りゆく
 車に乗りて轉りにも似て
 花房のそのままが濡れて黒ずみぬ
 秋の槐は空に重たし
 文化革命テレビに見入りたるが今日
 師走五目ドラマ化を観る
 繋がれし犬の動きは綱の範囲
 餌狙うカラスと駆けひきつづく
 ちらちらと雪の舞う道(夢の村)
 開村式に心せかしぬ
 風花の道のなだりは冬枯れて
 衰えゆける兄を見舞いて

米司 好美
 福澤 米子
 山崎 阿己
 山口 恵子
 柴田 弘子
 後藤 年子
 長谷川アキ
 星 愛子

上浦幌句の会

課題吟「餅」
 餅を搗く餡こに胡桃新春を待つ
 孫帰省お雑煮囲む時期を待ち
 杵餅も時代と共に薄らいで
 餅もちと食した子の顔思い出す
 搗く餅米も配給の時代も有りて
 しみじみと歳を感じる餅の味
 音もなく今時師走餅廻る
 一升餅背負い曾孫よたよたと
 ふっくらとあわび結びの鏡餅

広瀬マサヨ
 朝日ヒロエ
 笹島カヨ子
 河村みよ子
 山田 ナツ
 大西 功
 山田エツ子
 福田すま子
 芳川 乙美

浦幌川柳会

自由吟
 引き摺ったベールに女の夢光る
 一片の愚痴呑みこんで二人生く
 日溜りに煩惱透かして見る本音
 パソコンが俺の無能をあざ笑い
 何となく生きてしまった除夜の鐘
 おておてをして幸わせな屠蘇の味
 掛け替えたカーテン厚地冬の色

加藤 未貴
 橋本 葉子
 阿部 麗紅
 山村 幹雄
 白木二十重
 竹村 鮮明
 星 愛子

みんなの文芸

編集後記

表紙の写真は、成人の誓いを宣言する渡邊佳奈さんと交通安全全宣言をする敦賀沙弥香さんです。全国各地では、会場で暴れるなどの問題が発生し、成人式というイベント自体の存在の意義が問われています。成人式に対する価値観も多様化し、思いもそれぞれだと思いますが、浦幌の成人式は、多くの新成人が集まり厳粛に運営されていることに私としては必要性を感じています。そのあとの飲み会も重要です。社会に何かを求めるのではなく、社会のために自分自身が何をすべきかを考えるのが成人としての自覚、責任ではないかと考えています(当時はそんなこと考えもしなかつた)。閉塞感漂う社会の原動力となり、夢とやる気で新時代の扉を開いてください。(やす)掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡下さい。